

## 曲成毅 (Qu Chengyi)



山西医科大学 教授

山西医科大学公共衛生学院教授、博士課程指導教官。山西省の重点学科である、衛生統計学と流行病学学科のアカデミックリーダー。1984～1985年にオーストラリアのマッコーリー大学の行動学部で学び、帰国後はヨード欠乏症と子どもの精神発達に関連する研究を行い、世界で初めて「潜伏性甲状腺機能低下症」の概念を提起。推進役となって研究製作した。「Hiskey-Nebraska Test of Learning Aptitude (H-NTLA)」は中国障害者連合会の専門家による検証を経て、中国の聴覚障害児のリハビリ評価の指定ツールとなり、衛生部科学技術成果三等賞を受賞した。

その他、中華予防医学会理事、中華予防医学会感染症学分会常任委員、中華感染症学雑誌副編集長、山西省予防医学会副会長、感染症分会主任委員を務める。

### 乳幼児の精神発達の評価—その必要性及び実用性

キーワード：発達障害の早期発見，子どもの脳力向上の促進

子どもの成長と発達における冰山現象

